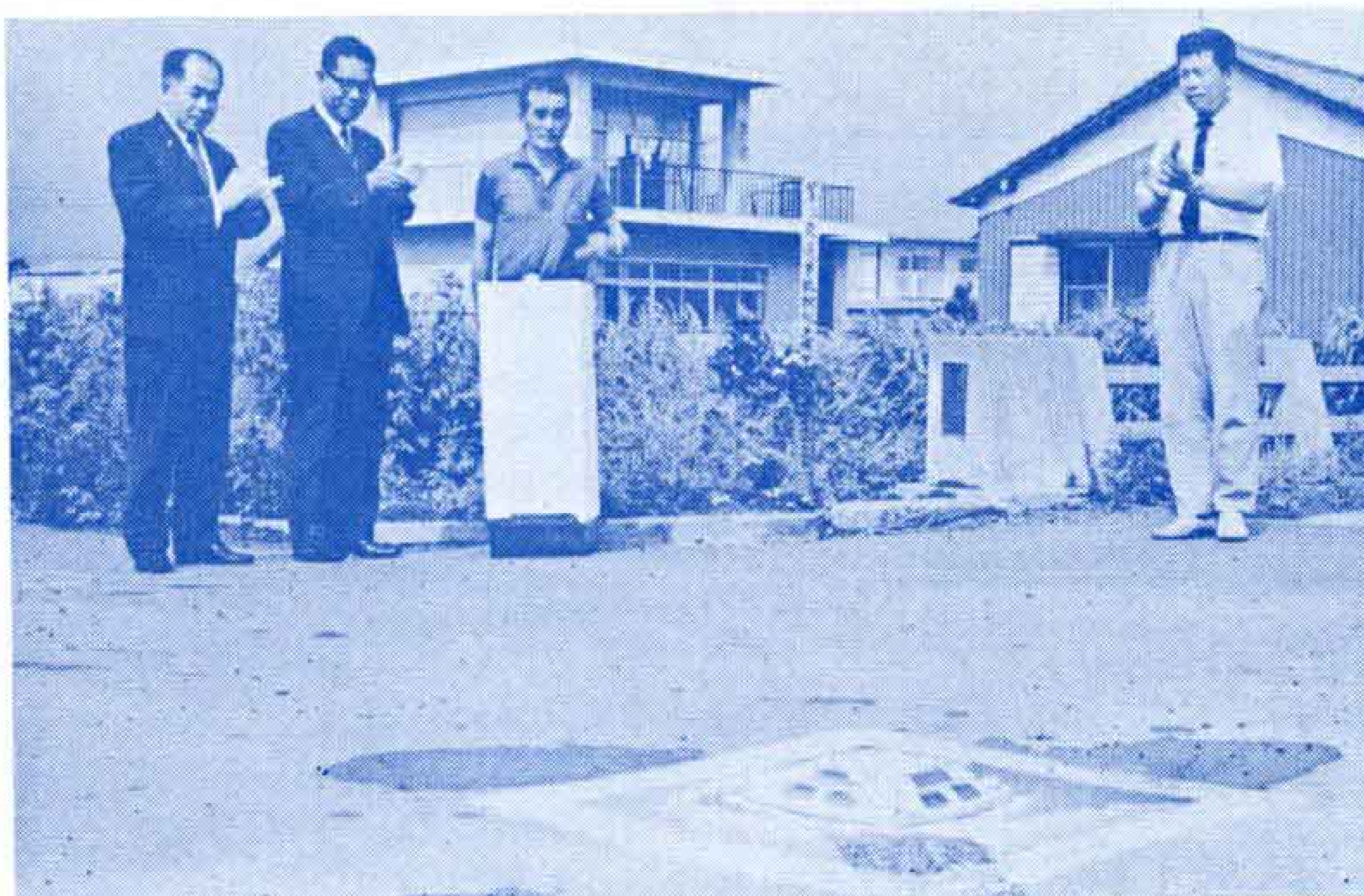


■事故防止願い  
ロードフラッシャー

交通事故防止に役立ててほしいと、増田武司さん(津田2-4)から、交通安全点滅板(ロードフラッシャー)2基がさきごろ寄贈されました。

増田さんは、去る5月3日、次女の礼子さん(12才・吉原1中)を交通事故で亡くしており、同じような悲しみをほかの人に味わってほしくない、何かよい方法をと考えロードフラッシャーを寄贈してくれました。ロードフラッシャーは、交差点の中央に設置し、ドライバーに注意を呼びかけるものです。【写真は事故現場でロードフラッシャーを点灯する増田さん】



■富士市ではじめての  
武道練成大会

剣道や柔道を習っている青少年に、武道館は夏休みを利用して基礎指導を行なっていますが、この武道練成大会が8月12日から3日間はじめて富士市で開催されました。剣道、柔道に参加した青少年は約400人で、ほとんどが体力づくりのためにはじめています。柔道の参加者は100名ほどで、伝法小学校の体育館に400畳のタタミをひいて練習を行ないました。なお、剣道は参加者が多かつたため、会場を吉原小学校の講堂と市立体育館の2カ所にして行なうほどで、少年剣士たちは、気合も一段と高く練習にも熱がこもっていました。



■盛大に行なわれた富士まつり

昨年は全日空機事故で中止になつた「富士まつり」、今年は8月14日から3日間盛大に行なわれました。14日の産業パレードを皮切りに、地区ごとのおどり大会、15日おどり大行進、16日納涼フェスティバル、花火大会と連日夜がふけるのも忘れるほどでした。このほか、子ども映画劇場、書道展、美術展、国鉄100年史展などを開催しました。



写真左 15日 吉原・富士駅南・駅北の3会場に3000人が参加したおどり大行進  
上 16日 スターメインや仕掛など72本を打上げた花火大会